

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 6 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県奈良市宝来町954-1

氏 名 大和リース株式会社 奈良支店
支店長 小原 孝清

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0742-52-8311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

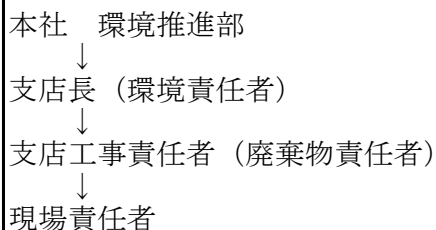
事業場の名称	大和リース株式会社 奈良支店
事業場の所在地	奈良県内各所（奈良市を除く）
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高 2,196百万円
③ 従業員数	21人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	主に建設工事（新築及び解体等）で発生 現場で発生した廃棄物はできる限り分別して排出する がれき類、廃プラ類、木くず、紙くず、金属くず、ガラスくず等 →中間処理後、再生利用業者に委託 建設混合廃棄物 →現場で細かく分別し、可能な限り発生させない 発生した際は中間処理業者で分別、処理後、再生利用業者へ委託 再生利用できないものは埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 建設現場で可能なかぎり分別し、排出。 リサイクル率の高い処理業者を選定し、委託する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生可能品を選び使用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラ、木くず、ガラスくずなど、すべての廃棄物をできる限り分別し、排出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度同様、分別を行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定なし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	建設現場で可能なかぎり分別し、排出。 リサイクル率の高い処理業者を選定し、委託する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
再生可能品を選び使用する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	大和リース株式会社	担当者氏名	
報告者所属部署	奈良支店	電話番号	

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)	(第3面)			(第4面)	(第4～5面)			
		排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量 (自動計算)	(委託先の区分ごとの処理委託量)		
							優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者
1 廃プラスチック類	前年実績	32.66t					32.66t	0.00t		
	計画	31.68t					31.68t	22.17t		
2 紙くず	前年実績	13.74t					13.74t	0.00t		
	計画	13.33t					13.33t	9.33t		
3 木くず	前年実績	63.79t					63.79t	10.38t		
	計画	61.88t					61.88t	55.69t		
4 金属くず	前年実績	34.69t					34.69t	0.00t		
	計画	33.65t					33.65t	23.56t		
5 ガラスくず等	前年実績	0.82t					0.82t	0.02t		
	計画	0.80t					0.80t	0.72t		
6 石膏ボード	前年実績	80.90t					80.90t	80.90t		
	計画	78.47t					78.47t	70.63t		
7 がれき類	前年実績	801.87t					801.87t	298.83t		
	計画	777.81t					777.81t	388.91t		
8 管理型混合廃棄物	前年実績	28.81t					28.81t	10.92t		
	計画	27.94t					27.94t	19.56t		
9 安定型混合廃棄物	前年実績	0.00t					0.00t	0.00t		
	計画	15.00t					15.00t	10.50t		

(別紙)